

■ 大学との意見交換 概要(人材関係)

大学発ベンチャーの支援やアントレプレナーシップ教育に力を入れている関西の5大学と意見交換

主な意見

- ・ 取組の方向性は、社会のあらゆる分野で積極的に新しい価値創造にチャレンジし、独創的な夢の実現をめざすアントレプレナー人材の育成
起業家から起業家育成人材が生まれ循環する、アントレプレナーシップエコシステムの構築をめざす
- ・ 関西圏における連携ネットワークの構築による事業化促進と人材育成を図るため、スタートアップに必要なファイナンスや知財の講義、学内ベンチャーにインターンシップを派遣する制度など、多様なプログラムを展開。
- ・ アントレプレナーシップ教育は、企業で活躍できるリーダー育成がメイン
- ・ 多様性がなければイノベーションは生まれないという考えの下で取り組んでいるプログラムには、学生だけでなく中小企業や市民も参加できるようにし、関西を中心としたイノベーション・コミュニティの創出をめざす
座学ではなく、実際に起業活動にチャレンジすることを重視したカリキュラム構成
アントレプレナーシップ教育に終わりはなく継続的に取り組む
- ・ 近年は『起業する人材』が不足。どの地域にも起業をめざす若者はいるが、特に地方では、ノウハウや経験を得やすい東京に流出していることが問題。
関西は大阪、神戸、京都があり、ポテンシャルは高い。
- ・ 課題は教育人材の不足。起業の実務経験と教員の資格(博士号取得等が要件)を併せ持った人材の採用が難しい

第2回改訂委員会(7/7) 委員意見(抜粋)

- ・ 大学や研究機関が充実しているので、そこから産業を生みだすのは関西らしいと言ってもよいのではないか
- ・ 大学で個性あふれる学生を育てる。そういった特色があればいいのではないかと。企業の離職率が高い。将来のリーダーとなる人材、リーダーシップのある人材の育成が必要
- ・ 関西に来ればおもしろそう、何かできそうという魅力あるエリアになるべき。学生が何かをやる際におもしろいと思わせないといけない。
- ・ 人が集まる仕組みが大事。働き方もそうだし、関西にきたらこういったことができるというのを見せる。産業が次へシフトできることを担保することも重要